

## 122 深川木場散歩 (8.5km)

### 【街歩きの概要】

地図を広げて、江戸の水運の動脈を担っていた堅川、小名木川、仙台堀川、大横川、横十間川などとともに猿江恩賜公園、木場公園を散策する。



横十間川大島橋

### 【道順】

錦糸町駅・伊藤左千夫住居跡→魚寅・江東寺→横十間川→半蔵門線住吉駅→猿江恩賜公園・材木蔵跡→日先神社・重願寺・猿江神社→小名木川→五本松跡・五百羅漢道標→釜屋跡→クローバー橋→岩井橋→横十間川親水公園・野鳥の島→仙台堀川→木場公園→洲崎神社（波除碑）→繁栄稲荷→東京メトロ東西線木場駅

### 地図豆知識：木場と木場の歴史

日本の都市で「日本のヴェニス」と呼ばれているところがいづらかあるが、江戸（東京）にもそうした呼び方ができただろう。江戸の町にも、自然の川ばかりでなく人工の運河が網の目のように走っていて、吉原に行くにしても、いちばん気持ちのよいのは舟で行く方法だったからだ。

中でも、銀座をはじめとした京橋区一帯は、明治の15区の中でも一番水路に恵まれた地域だった。それ以上の区といえば深川だけであって、ここでは東京に入ってくる木材の運搬、貯蔵、それに河口のために、網の目のように入り組んだ運河や掘割が必要だった。特に、深川の南端に面した一帯は、武家の土地の間に小さな町家が所々に固まっている本所とは、かなり趣を異にしていた。そこには木場が多くあって、木場の材木商は、日本橋の豪商ほどではないにしろ相当裕福だった。

明治の後半になっても歌舞伎が遊里と並んで、依然として下町の上流社会の中心だった。そのとき、木場の木材問屋が（小山内薫の『大川端』にもあるように）歌舞伎の最頂筋だったという。（主に「東京下町山の手」サイデンステッカー著から）

そしてこの辺りはゼロメートル地帯だから、道路は橋に近づくほどに高くなるのが特徴である。2m、3m ほどの坂が見えたら橋だと思っても間違いはない。同じように低い干拓地が広がるオランダのアムステルダムでは、このような運河へ架かる橋へ上る坂が、町の最も急な傾斜なのだとか。木場も同じかもしれない。



「江戸切絵図」（1862）木置場の文字が多く見える

その、木場の歴史であるが、それは天正 18（1590）年に、徳川家康が江戸に入ったことに始まる。家臣団や御用商人が続々と移住し、水利、土木工事にも着手した。このとき小名木川の開さくも行われ、摂津の人深川八郎右衛門が江戸の湿地開拓を行ったと伝えられる。これが、深川という地名の起源となる。

慶長 8（1603）年には、江戸に幕府を開き、大規模な海岸の埋立て工事始まり、江戸城の建築も始まる。同 11（1606）年 江戸城が竣工し、そのとき工事に従事した各地の材木業者で江戸に残った者に御府内での材木商免許が与えられ、日本橋材木町などのほか、水利に便利な南茅場町、三十間掘、八丁掘等に店を構えることになった。これが、江戸材木業の起源である。

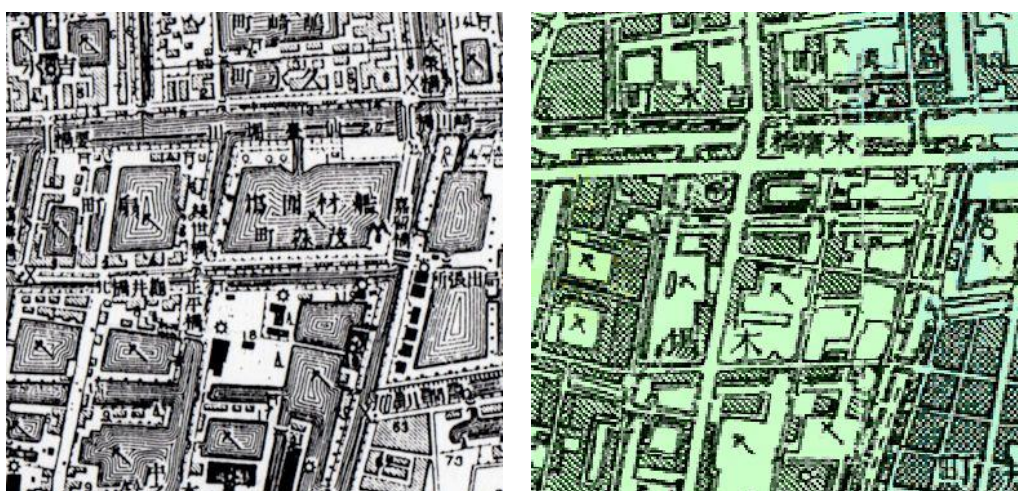
その後、参勤交代制確立、人口の急増により、江戸の木材需要が高まる。慶長 18（1641）年の江戸大火の後、幕府は府内材木業者に材木の高積を禁止し、材木置場として永代島を指定した。これがのちに元木場と呼ばれ、木場名称の起源となる。

明治 9（1876）年には、東京府の鑑札を受けた東京材木問屋組合の届出者は 69 名であっ

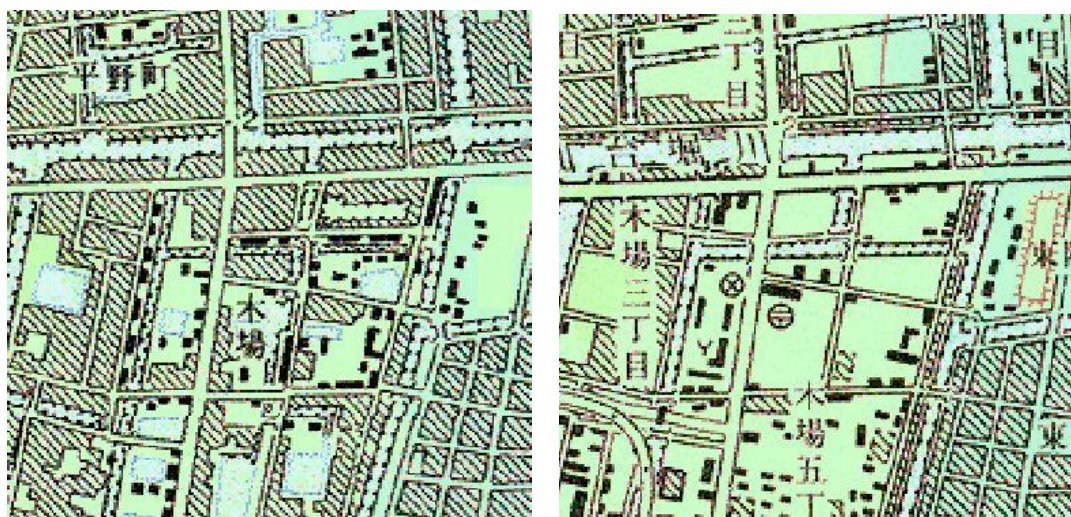


たという。大正 12 (1923) 年の関東大震災で、木場をはじめ市内材木商のほとんどが焼失したが、復興のための需要急増で木材業は急速に立ち直り、さらに全国各地より復興景気を目当てに木材業者が東京に集中し、材木問屋は 450 (震災前は 280) 店と震災前の 2 倍となった。

昭和 21 (1946) 年、太平洋戦争が終わり木材業の営業は許可制として再開されたが、許可される者は約 1,500 名であった。昭和 30 年代、高度経済成長期に入り、周辺の地盤沈下や公害問題、交通事情の悪化、また建設ラッシュが進み、湾岸地域の新木場への移転が検討される。移転は昭和 49 年 (1974) から始まり、昭和 57 年 (1982) に完了した。



1/25,000 地形図「東京首部」T4 / 1/25,000 「東京首部」S5  
貯木池と材料置き場の記号から、その変化が読み取れる



1/25,000 地形図「東京首部」S41 / 1/25,000 「東京首部」S60  
昭和 41 年図ではいづらか残る貯木池も、昭和 60 年図では全く見られない

## 【街歩き解説】

### ①伊藤左千夫住居跡

錦糸町駅前には、伊藤左千夫牧舎兼住居跡を示す石碑と案内板がある。上総国武射郡（現在の山武市）の農家に生まれ、のちに歌人や小説家として知られることになる伊藤左千夫は明治 22(1889)年、この場所で牧舎付き住居を購入し、牛乳搾取業で独立したのだという（1889）。伊藤左千夫は、のちに伊藤並根に短歌・茶の湯などを学び、さらには正岡子規にも師事する。小説「野菊の墓」がよく知られる。



伊藤左千夫住居跡碑 / 江東寺

### ②魚寅・江東寺

錦糸町駅南口を降りると、「魚寅」と書かれた巨大な看板のある建物が目に入る。そのこの1Fは魚屋、2Fが寿司屋で、寄り道したくなる。江東寺は、昭和 15 年（1940）に創建され、現在の本堂は昭和 55 年に再建された鉄筋コンクリート造である。

その後、田螺（たにし）稲荷神社、牡丹橋跡などを経て、横十間川・猿江恩賜公園へ出る。

### ③横十間川・猿江恩賜公園・材木蔵跡

横十間川・猿江恩賜公園へ出る。猿江恩賜公園は、江戸時代から続く徳川幕府による材木蔵であった。その後、明治政府になってからは皇室御用材の貯木場になり御木蔵と呼ばれた。1924 年皇太子裕仁親王（後の昭和天皇）の成婚を記念して、（猿江）貯木場の一部が東京市に下賜（現在の南園部分）されて猿江恩賜公園となった。公園の北側の地区は、戦後も貯木場として使用されていたが、これも 1976 年に江東区潮見に移転し、1963 年には、猿江恩賜公園に追加開園された。

公園内には、かつての貯木場を模したミニ木蔵（水面）があり、当時の石材が使用されている。南園には猿江材木蔵跡碑がある。





猿江恩賜公園からスカイツリー / 材木蔵跡標柱

#### ④日先神社・重願寺・猿江神社

平安時代後期、源頼義・義家（八幡太郎義家）父子による奥州遠征（前九年の役）において、数々の奉勝を立てた家臣に『猿藤太』（さるのとうた）という武将がいた。武勇の士と讃えられた人物であったが、この地の入江で力尽きた。これを知った地元の漁師達が手厚く葬り、猿江神社の境内に塚を建て葬ったという。

これにちなんで猿藤太の「猿」と入江の「江」の字を取り結び「猿江」の社名になったと伝えられる。社殿は、築七十余年を経て国内最古の部類に入るといわれる鉄筋コンクリート造り。

「みまもり観音」と夭折の画家関根正二墓がある重願寺には、詳細不明ながら「B29のプロペラ」が展示されている。



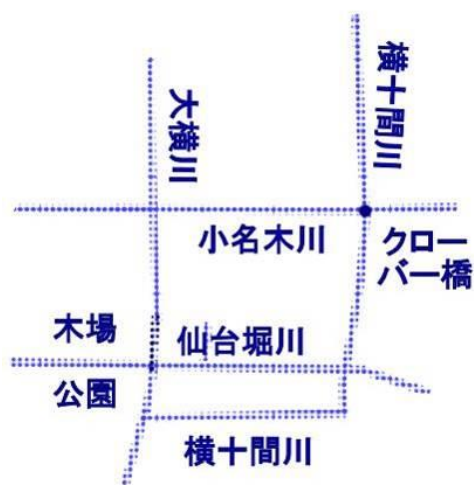
猿江神社

#### ⑤横十間川

辺りを逆L字形に流れる横十間川は、江戸城に対して横に流れ、川幅が十間（18m）あったことからこう呼ばれた。別名の天神川は、亀戸天神の横を流れることに由来する。十字

形となったクローバー橋から下流（南）は親水公園となっている。

辺りの運河は、いまでも一部はコンクリート製高さ 3~4mほどの直立の高潮堤防「カミソリ堤防」で洪水を防ぐ状態にある。もとは、堤防が洪水のために決壊または破堤することを、「堤防が切れる」と表現するため、剃刀の刃がよく切れることと語呂が合わせて、壊れやすい堤防→切れやすい堤防→カミソリ堤と呼ばれた。



木場周辺の河川網 / 横十間川三島橋付近

## ⑥小名木川

小名木川は、家康が江戸入府直後に建設した運河で、その名称は、この川を開削した「小名木四郎兵衛」の名からとったといわれる。製塩地帯であった行徳と江戸とを直結させ食料や物資の輸送路を確保する目的で開削された。明治期には本河川の水運を利用したセメントや化学工業などが発展した。小名木川と横十間川の交差するところにあるクローバー橋は、中央部で十字に交差する珍しいもの。本河川に沿って緑道公園が整備されているほか、水上バスの発着所もある。





小名木川 / 五百羅漢道標（小名木川橋際）

### ⑧釜屋跡

釜屋跡のある横十間川大島橋際は、江戸初期に近江国から太田氏釜屋六右衛門（釜六）と田中氏釜屋七右衛門（釜七）がこの地に工場を構え、明治・大正期まで鋳物業を盛んに行っていた。両氏は、幕府の用品から市民までの幅広い需要に応えたという。

明治期に、この辺りで化学工業が発展したことを証明するように化学肥料創業記念碑が建つ。



釜屋跡標柱 / 化学肥料創業記念碑（の一部）

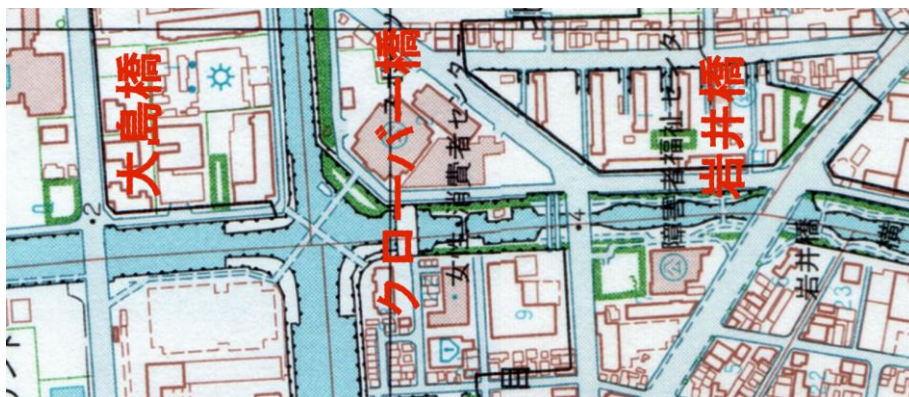
### ⑨クローバー橋・岩井橋

鶴屋南北作『東海道四谷怪談』は、実在の場所や当時江戸の町で話題になっていたいくつかの実話をもとに創作されている。その第三幕「砂村隠亡堀の場」は、境川（現在の清洲橋通り）と横十間川の交差する辺りにあった掘割が舞台になっている。

そこでは、戸板に括くり付けられたお岩さんと小仏小平が流れつくことになっている。「隠亡（おんぼう）」とは火葬に従事する人のこと。隠亡堀は実在の掘割で、辺りに火葬場があったため、そのように呼ばれていた。

現在の岩井橋は、横十間川と今は暗渠となっているかつての境川が交差しているポイント

トで、物語のお岩さんと小仏小平が流れ着いた隠亡堀があった場所である。



大島橋から岩井橋まで（←北）



クローバー橋

### ⑦仙台掘川

旧中川と隅田川を結仙台掘川は、北岸にあった仙台藩邸の蔵屋敷に米などの特産物を運び入れたことに由来する。「仙台堀」とも呼ばれていた。辺りは、材木問屋が材木置き場として利用していた。もちろん木場への材木輸送の重要な水路でもあった。



仙台掘中州にある「野鳥の森」 / 仙台堀 豊住橋辺り



### ⑧木場公園

辺りは材木業関連の倉庫や貯木場などが多かった。しかし新しい埋立地が完成して、今までの貯木場としての機能が新木場へ移転したことで公園となった。



木場公園 / 洲崎神社



洲崎神社（波除碑几号水準点）台石に刻まれている

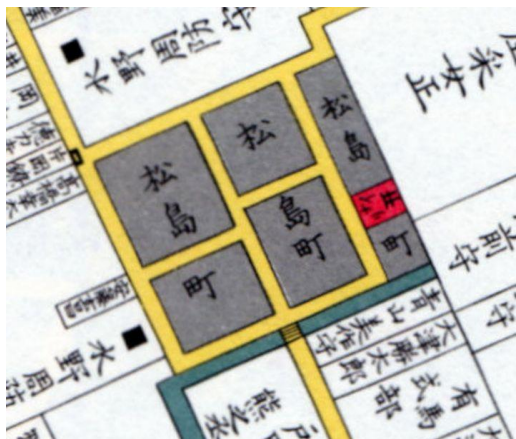
### ⑨洲崎神社（波除碑）と洲崎遊郭

洲崎神社は、桂昌院（徳川五大将軍綱吉公の生母）が崇敬した江戸城中紅葉山の弁財天を、護持院（現護国寺）隆力の進言により元禄 13（1700）当地に遷座して創建、当地が海岸に浮かぶ弁財天で、東南は房総、西には富嶽が見え、晩春には潮干狩りで賑わったことから、文人墨客の参詣を集めていたという。

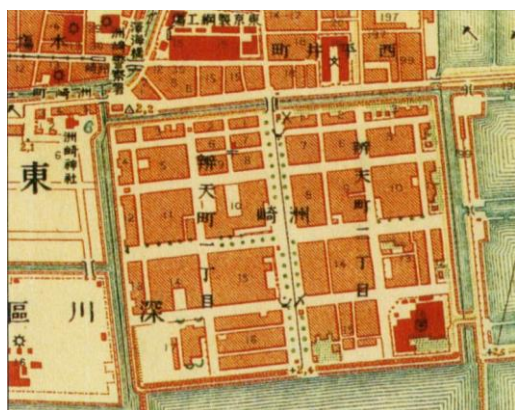
ところが、寛政 3 年（1791）に押し寄せた津波により、当地周辺は多数の死者行方不明者を出し、江戸幕府は当地を東北、平久橋の袂を西南とした一帯を買い上げ、居住禁止区

域とした際の波除碑（津波警告の碑）がここに建てられた。

石碑は震災と戦災によって破損が著しいが、その台石に几号水準点が刻まれている。



(日本橋) 吉原 (「江戸切絵図」(1862)) / 新吉原 (1/10,000 地形図「上野」1921)



洲崎遊郭 (1/10,000 地形図「洲崎」1921)



東陽1丁目 (1/10,000 地形図「夢の島」など) 1981)

いずれも、周囲が掘割で囲まれるなどの独特の区画をしている

### 地図豆知識？ 吉原遊郭と洲崎遊郭のこと

文明開化が吉原をはじめとする遊郭にもたらした最初の変革は、娼妓たちの「解放」ということだった。それは、マリア・ルース号事件の直接の結果だったらしい（明治5年）。

ペルー船マリア・ルース号の船長は、奴隷、特に中国人苦力を使っているという廉で、横浜の裁判所から有罪の判決を受けた。ところが、ペルー側はこれに反訴し、日本人自身も奴隷を売買している、その主な商品は遊郭の女たちであると。こうして娼妓は法律的に「解放」されることになった。

解放後、妓楼は「貸座敷」と名を変えて危機をしのいだ。女性たちは、名目上はあくま



でも自由で、鑑札を受けた家なら貸座敷を借りて商売することができたのである。その結果、貸座敷のある色街が、品川、新宿、板橋、千住、それに吉原、根津の6ヶ所に出来た。

ところが根津は、明治の初めには不便な所であった。しかし、明治17年大学南校医科（のちの帝国大学、東京大学医学部）をここに設置したことから、大学の近くに遊郭があるのは不適當ということになった。なにせ帝大の学生といえ、日本の将来を背負って立つべきエリートである。誘惑から遠ざけておかなければならない。少なくとも、歩いて行けるような距離にこんな悪所があっては困る。そこで、根津遊廓を吉原に移転するとしても、その余地がないことから、洲崎の平井新田の近くを埋め立てることになり、明治20年にその工事が完了し、同21年に根津遊廓はそっくり洲崎に移されることになったのだ。

場所は、現在の東陽1丁目、住居表示制度実施前は深川洲崎弁天町1丁目及び2丁目である。

一方の女性解放ということでは、日本で救世軍の活動が始まったのは明治28年だが、33年にはアメリカ人の救世軍大佐が来日し、吉原の娼妓たちに廃業を奨励する冊子『ときのかえ』を発行して、呼びかけに応じた女性たちを救護すると訴えた。妓楼の経営者たちはこのパンフレットの買い占めを試み、街頭で冊子を売っていた救世軍の日本人兵が、吉原の用心棒に襲われる事件が起きた。また、洲崎遊廓から女性を救い出そうとした二人の男も襲われた。

ついに新聞記者の一人が吉原から情勢を救い出すことに成功するにおよんで、遊廓からの脱出がほとんど流行のようになった。救世軍の発表では、数か月の間に1000人以上の脱出者があったというが、やがて流行も去り、1958年（昭和33年）の売春防止法の完全施行まで成果を上げることはなかった。（主に「東京下町山の手」サイデンステッカー著から）

## ⑩新田橋、地下鉄木場駅

新田橋は、大横川（旧大島川）に架かり、江東区木場5丁目から木場6丁目を結ぶ小さなものながら、町の人びとの暮らしを支え続けてきた。この橋は、大正時代に岐阜県から上京して木場5丁目にて医院の開業をしていた新田清三郎さんが、昭和7年（1932）に夫人を不慮の事故で失ったことから、その霊を慰める意味を込めて、近所の多くの人たちと協力して架けたもの。当初は、「新船橋」と名付けられた。ところが、新田医師は地元での人望が厚く、「木場の赤ひげ先生」的で、亡くなった後も地域の人々から愛されたことから、いつしか「新田橋」と呼ばれるようになった。

この小さな橋は、映画やテレビの舞台ともなり、下町の人々の生活や歴史の移り変わり、出会いや別れ、様々な人生模様を見守り続けてきた。



新田橋から大横川 / 地下鉄木場駅

地下鉄構内などへの洪水の進入を防ぐため、入り口は一段高く建築され、防水扉や止水板も用意されている





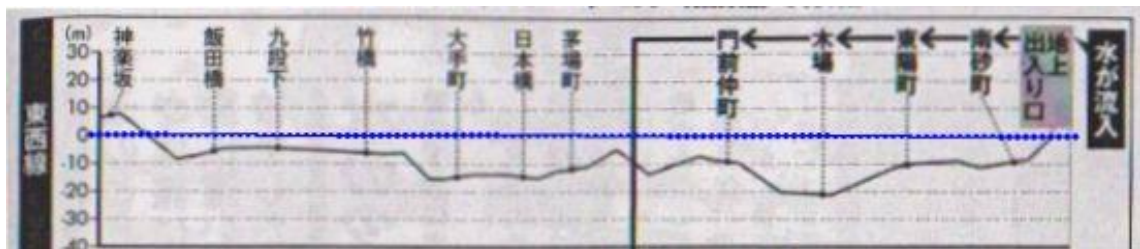


江東区周辺の1/25,000地形図とデジタル標高地形図  
海岸に近い新しい埋め立て地や、河川周辺の標高が高い

#### 地図豆辞典：荒川堤防の決壊と地下鉄の浸水

自然災害が多発している今、身を守るすべは自身の行動にあるのかもしれない。より以上に生きながらえたいと思うなら、常からTPOに応じた危険回避行動を描いておくことや、危険地域などの情報・知識を蓄えておくことも大事だ。

さて今回のウオーキングレート付近は、東京湾に近い海拔ゼロメートルエリアに位置する。政府の中央防災会議の地下鉄の浸水シミュレーションによると、もしも荒川の堤防の一部が地震で崩れ、そして東西線が南砂町・東陽町付近から東西線が浸水したら、トンネルが深くなる木場駅近辺がまっさきに水溜まりになるのだという。



ただし、東京湾に近い海拔ゼロメートルエリアの東西線の門前仲町、木場、東陽町、南砂町駅や有楽町線月島、豊洲、辰巳駅、半蔵門線の清澄白河、住吉、錦糸町、押上駅、新宿線の大島、西大島、住吉、菊川駅などには、万一のため駅入口には操作のための丸いハンドルがある防水扉が設置されている。乗降の際に確認して見るといい。

あくまで比較論だが、危なそうな駅にはこうした備えがあって、もしものときに時間稼ぎはできる状況にある（「土木学会論文集」などより）。

東京周辺の地下には東京礫層と呼ばれる20～30万年前の砂礫層が走っている。この礫層は西から東へと低下していて、武蔵野台地に位置する新宿の超高層ビルなどは、6～7m下にある東京礫層を基礎にすることを容易に可能にしている。しかし下町低地では、同礫層の上に有楽町層と呼ばれる軟弱な沖積層が70mもの厚さで覆っているから、超高層ビルを建設することは容易ではない。

この地域の超高層建物の代表といえる東京スカイツリーを支える3本足の杭の長さは50mもある。しかもその杭は、上下方向や左右の力に耐えるような工夫もあるのだという（突起の付いた「ナックル・ウォール」と巨大な壁状になった「地中連続壁杭」）。

一方、地下鉄東西線木場駅付近などでは、沖積層の中を通過するから、そこでは軟弱な泥の中に通したパイプ状構造のトンネルを使用していて、硬い地層とは連結されていない。



本所深川江戸切絵図（1862）と1/25,000地形図（2001）  
道路網や水路網の基本形は、おどろくほど変化していないことがわかる

#### 地図豆辞典：日本で一番低いところは、どこにある？（「地図と測量の雑学事典」より）

日本で一番標高の高いところが、富士山であることは誰でも知っているでしょう。では、富士山のそのまたどこが日本一高い地点でしょうか。

富士山頂には2等三角点「富士山」という測量に使われる標石があって、その頂部標高が3775.63mです。しかし、そこは日本の最高所三角点ではありますが、最高所地点ではありません。

国土地理院の確認した最高所地点は、その三角点のやや南側にある岩の頂で、この標高は3776.24mです。著者は富士山に登頂していませんので詳細は分かりませんが、登頂の機



会がある方は、本当の山頂を確認して“なぜなぜ”して見ると、ちょっと特をした気分になるかも知れません。

それでは、反対に日本でもっとも低い地点はどこにあるのでしょうか。

最近では、あまり話題になっていませんが、日本にはゼロメートル地帯と呼ばれる場所が各地にあります。最も顕著なのが東京の下町です。東京都江東区南砂7丁目には、マイナス2.5m前後の水準点と三角点があって(現在、三角点は土中に埋没しているとの情報もある)、付近の標高はもちろんゼロメートル以下です。

ところが、下には下があって、さらに低標高の三角点が他にあります。それは、秋田県の大潟村にある三角点標高は、マイナス4.4mです。これも三角点は不明なのでしょうか、「地図閲覧サービス」では、記載がありません。それでも、地図上に見える周辺の標高がマイナス4m前後ですから、ここが日本で1番低いところでしょう。

いや、さらに下があります。

人工的なものになりますが、八戸市には国内有数の露天掘り石灰鉱山、住金鉱業八戸石灰鉱山(八戸キャニオン)があって、掘られた深さは現在海面下135mに達しているといえます。

ここは地図に表現された、そして展望台もありますから地上から見られる場所として、日本で1番低いところかもしれません。

大潟村にある「日本一低い山」ではありませんが、人工的なところでも良いならさらに低い地点があります。鉱山を含めた地下トンネルの中です。一般者でも近づけそうなのは、関門トンネルや青函トンネルでしょう。

関門トンネル(福岡県北九州市門司区)内には、国土地理院の水準点があって、その標高マイナス47.9mです。青函トンネル内にも1等水準点があって最深部に近い水準点の標高は、マイナス256.6mです。

このように、地表面だけでなく、人が到達できた最も低い地点ということなら、鉱山や洞窟の中に、人には知られていない更なる最低地点があると思われます。

#### ○東京都江東区南砂7丁目

1等水準点 No. 9833 標高マイナス2.4460m

3等三角点「砂村」 標高マイナス2.52m

北緯 35° 40′ 08″

東経 139° 50′ 16″

#### ○秋田県南秋田郡大潟村

3等三角点「大潟」

標高マイナス 4.43m

北緯 40° 0′ 43″

東経 139° 59′ 56″

○青森県 8 戸市大字松館字長坂 9-1 住金鉱業 8 戸石灰鉱山

標高マイナス 135m

北緯 40° 27′ 06″

東経 141° 32′ 13″

○青函トンネル（北海道/青森県）1 等水準点 N011379

標高マイナス 256.5674m

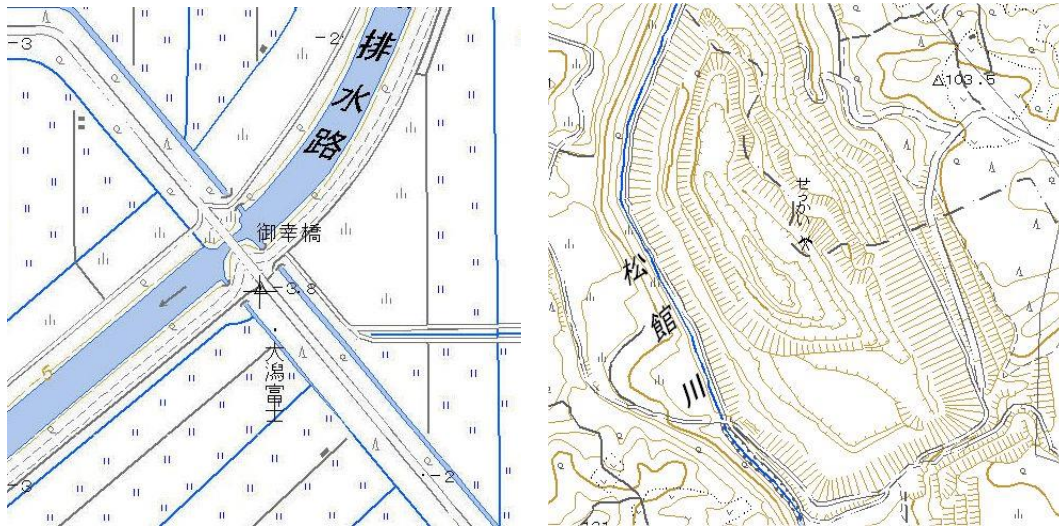
○関門トンネル（福岡県/山口県）道路水準点 NO 2-534

標高マイナス 47.8929m



マイナス 2.52m の三等三角点「砂村」付近  
(1/10,000 地形図「新井田」)





マイナス 4.43mの大淵富士付近 (1/25,000 地形図「五城目」) と  
マイナス 135mの住金鉱業八戸石灰鉱山付近 (1/25,000 地形図「新井田」)



# ルートマップ



\*\*\*\* オフィス 地図豆 Yamaoka mitsuharu \*\*\*\*